

平成30年度の学校評価

1 重点目標等

30年度の重点目標		<p>1 生徒のキャリア形成の方向性と関連づけながら、基礎的・基本的な知識及び技能、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力、そして主体的に学習に取り組む態度をバランス良く育成する指導方法の改善に取り組む。</p> <p>2 生徒一人ひとりに丁寧に関わりながら、生徒の特性を的確に把握し、個に応じた指導を実現する。</p> <p>3 各教員が健康的に教育活動に従事できる環境を整えていく。</p>	
項目	重点目標	具体的方策	留意事項
規範意識、人権感覚の向上	碧南高校生としての誇りを喚起し、規範意識・人権感覚を高める教育を行う。	<p>ア 広報活動の充実（HP、リーフレット、碧高ニュース）</p> <p>イ 挨拶を励行（正門指導、授業等）</p> <p>ウ 人権講話等の実施</p> <p>エ いじめの未然防止に係る取組の充実・いじめの早期発見及び適切な対応</p>	<p>ア より早く、よりわかりやすく更新、作成する。個人情報の扱いに配慮する。</p> <p>イ キャンペーンを実施するなど、全校体制で行う。</p> <p>ウ 多面的、実践的な内容を計画する。</p> <p>エ 学校いじめ防止対策組織の役割を生徒や保護者に周知する。学校生活アンケートや個人面談を活用する。</p>
授業改善の推進	全ての教科・科目において新たな授業改善を図り、生徒の一層の学力向上に努める。	<p>ア 身に付けさせたい力と評価方法の明確化</p> <p>イ 月間目標等、短期・長期の到達目標の作成</p> <p>ウ 全ての教科・科目で、生徒が「どのように学ぶか」を意識した授業を計画</p> <p>エ 研究授業の充実</p> <p>オ 学習時間調査の実施</p> <p>カ 現職研修において、授業改善に関する講話の実施</p>	<p>ア 教科会を充実させ、共通理解の形成に努める。</p> <p>イ 生徒へ提示して目標を可視化する。</p> <p>ウ 安易に課題を増やすのではなく、授業を工夫することで学習意欲を高める。</p> <p>エ 各教科で能動的な学習となる研究授業を実施する。</p> <p>オ 手帳型教材や計画表などを用い、定期的に調査を行い、実態の把握に努める。</p> <p>カ 先進的な取組をしている大学教授等に依頼する。次期学習指導要領の研究も行う。</p>
キャリア教育の推進	生徒一人ひとりの進路実現を図るために、三年間を見通した学習指導並びにキャリア教育を確立する。	<p>ア キャリア教育の年間指導計画の実践（普通科：総合的学習の時間）</p> <p>イ オープンキャンパスやインターンシップへの積極的な参加</p> <p>ウ 各種進路ガイダンス実施による生徒の職業観の形成</p> <p>エ 個人面談を通じた、全校的な進路意識の向上</p>	<p>ア 三年間を見通した、学習の在り方を再確認する。ポートフォリオの構築を行う。</p> <p>イ 担任、授業での呼びかけを行う。事前事後の指導の工夫を行う。普通科生徒のインターンシップ参加を促す。</p> <p>ウ 学部学科説明会、大学模擬授業を第2学年で実施する。</p> <p>エ 学習、進路、生活の全ての面において、生徒に良い指針を与えられるようにする。</p>
学校行事、部活動等の充実	豊かな人格形成を目指し、学校行事、部活動等の一層の充実を図る。	<p>ア 生徒主体の学校行事運営の実施</p> <p>イ 清掃活動の充実</p> <p>ウ 受納式、部長会の積極的な活用</p> <p>エ 中学校と連携した部活動</p> <p>オ 部活動状況の積極的な広報</p> <p>カ 個人面談を通じた部活動相談</p>	<p>ア 生徒の達成感ややりがいを高める。</p> <p>イ 環境整備を徹底し、教育成果をより高める。メンタルヘルスの観点からの指導も行う。</p> <p>ウ できる喜び、勝つ楽しさ、仲間との協力を伝える。</p> <p>エ 中高合同活動を通して地域貢献につなげていく。</p> <p>オ 学期に1度更新する。</p> <p>カ 顧問と担任が連携して活動状況を把握する。</p>
開かれた学校づくり	地域とのかかわりを積極的に進め、地域に信頼される学校づくりを図る。	<p>ア 広報活動の充実（HP、リーフレット、碧高ニュース）</p> <p>イ PTA活動の活発化（交通安全指導、巡回、ハンギングバスケットづくりなど）</p> <p>ウ 交通安全指導によるマナー向上</p>	<p>ア 学校行事や部活動の活動記録についてはスピード感をもって更新、作成する。</p> <p>イ 行事の時期や内容に改善を加えていく。</p> <p>ウ 警察署との連携を図る。</p>

		エ ボランティア活動への積極的参加 オ 商工会議所、ハローワーク、各業種組合との密な連携 カ Kプロジェクトの継続及び拡大、出前授業の実施による総合ビジネス科の周知	エ 碧南市、中央地区等との連携を図る。 オ よく訪問して実情を伝える。 カ 事前事後の指導の徹底、出前授業の充実を図る。
笑顔溢れる学校づくり	生徒・教員が笑顔で活動できるように業務改善を図る。	ア 長時間勤務の是正 イ 不祥事防止	ア 教員の多忙化解消プランの周知・理解に努めるとともに、労務管理意識を高める。 ワークショップ等で多忙化解消の課題及び改善方策を検討し、効果が高いと判断した方策から実施する。 イ 不祥事防止ガイドライン等の周知・理解に努める。
学校関係者評価を実施する主な評価項目		1 規範意識、人権感覚の向上 3 キャリア教育の推進 5 開かれた学校づくり	2 授業改善の推進 4 学校行事、部活動等の充実 6 笑顔溢れる学校づくり

2 評価結果

ア 自己評価結果

30年度の重点目標		1 生徒のキャリア形成の方向性と関連づけながら、基礎的・基本的な知識及び技能、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力、そして主体的に学習に取り組む態度をバランス良く育成する指導方法の改善に取り組む。 2 生徒一人ひとりに丁寧に関わりながら、生徒の特性を的確に把握し、個に応じた指導を実現する。 3 各教員が健康的に教育活動に従事できる環境を整えていく。	
項目	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
規範意識、人権感覚の向上	碧南高校生としての誇りを喚起し、規範意識・人権感覚を高める教育を行う。	ア 広報活動の充実（HP、リーフレット、碧高ニュース） イ 挨拶を励行（正門指導、授業等） ウ 人権講話等の実施 エ いじめの未然防止に係る取組の充実・いじめの早期発見及び適切な対応	ア 計画どおり実施でき、本校生徒の誇りを喚起することに寄与できた。 イ 一部生徒が挨拶できない。 ウ 日常場面での取組を実施できるように準備したい。 エ 今年度は早期発見に対応できた。生徒指導と教育相談の融合体制を構築する。
授業改善の推進	全ての教科・科目において新たな授業改善を図り、生徒の一層の学力向上に努める。	ア 身に付けさせたい力と評価方法の明確化 イ 月間目標等、短期・長期の到達目標の作成 ウ 全ての教科・科目で、生徒が「どのように学ぶか」を意識した授業を計画 エ 研究授業の充実 オ 学習時間調査の実施 カ 現職研修において、授業改善に関する講話の実施	ア 年間計画を作成することで各教員が意識できている。 イ 短期到達目標は手帳の活用で実施できた。長期達成目標は十分ではない。 ウ 授業改善に向けた努力はできている。実施状況を把握する必要がある。 エ 指定校事業、年次研修での実施などで回数は増えた。 オ 年2回の調査に加え、1、2年生は手帳活用での把握を行うことができた。 カ 実施できなかった。
キャリア教育の推進	生徒一人ひとりの進路実現を図るために、三年間を見通した学習指導並びにキャリア教育を確立する。	ア キャリア教育の年間指導計画の実践（普通科：総合的学習の時間） イ オープンキャンパスやインターンシップへの積極的な参加 ウ 各種進路ガイダンス実施による生徒の職業観の形成 エ 個人面談を通じた、全校的な進路意識の向上	ア 計画的に実施することができた。 イ 早い時期からのオープンキャンパスへの参加が望まれる。インターンシップ参加者は増えており、職業観、就業観の醸成につながっている。 ウ 進路を考えさせるうえで、充実した取組が実施できた。 エ 各学年も充実した個人面談を実施でき、生徒の進路意識が高まった。

学校行事、部活動等の充実	豊かな人格形成を目指し、学校行事、部活動等の一層の充実を図る。	<p>ア 生徒主体の学校行事運営の実施</p> <p>イ 清掃活動の充実</p> <p>ウ 受納式、部長会の積極的な活用</p> <p>エ 中学校と連携した部活動</p> <p>オ 部活動状況の積極的な広報</p> <p>カ 個人面談を通じた部活動相談</p>	<p>ア 生徒主体で実施できた。</p> <p>イ 不十分な箇所がある。</p> <p>ウ 部活動の充実に資するものになっている。</p> <p>エ 一部の部で実施できている。</p> <p>オ HPでの広報を拡大したい。</p> <p>カ 実施できなかった。</p>
開かれた学校づくり	地域とのかかわりを積極的に進め、地域に信頼される学校づくりを図る。	<p>ア 広報活動の充実（HP、リーフレット、碧高ニュース）</p> <p>イ PTA活動の活発化（交通安全指導、巡回、ハンギングバスケットづくりなど）</p> <p>ウ 交通安全指導によるマナー向上</p> <p>エ ボランティア活動への積極的参加</p> <p>オ 商工会議所、ハローワーク、各業種組合との密な連携</p> <p>カ Kプロジェクトの継続及び拡大、出前授業の実施による総合ビジネス科の周知</p>	<p>ア 計画どおりに広報することができた。</p> <p>イ 予定どおりに実施できた。</p> <p>ウ 指導中は概ね良好である。</p> <p>エ ボランティア部をはじめ積極的に参加できた。</p> <p>オ 連携で得られた就職関係情報を適切に活用できている。</p> <p>カ 現状維持でも充実している。出前授業は効果がある。</p>
笑顔溢れる学校づくり	生徒・教員が笑顔で活動できるように業務改善を図る。	<p>ア 長時間勤務の是正</p> <p>イ 不祥事防止</p>	<p>ア 運営委員によるワークショップを月1回開催し、実施できるものから実施している。</p> <p>イ 注意喚起と情報提供を行い、未然防止に努めている。</p>

イ 学校関係者評価結果等（自己評価結果に対する評価）

1 規範意識、人権感覚の向上	大人が起こす酷い事件が頻発している。是非思いやりのある生徒を育てる教育を今後も実践してほしい。
2 授業改善の推進	出前授業では、生徒が参加する楽しい授業を見せてもらった。今後は更に学力の伸長にも力を置いて地域の拠点の学校になってほしい。また、主権者教育も実施されており、将来、この地域の未来を考えることができる人材を育ててほしい。
3 キャリア教育の推進	2020年からの新しい「大学入学共通テスト」については保護者が不安を感じていると思う。今後、この共通テストについて情報を提供してほしい。また、インターンシップは効果を発揮していると思う。今後、受け入れ先の確保に協力したいと思っている。さらに、手帳型教材の活用というのは新しい試みであると感じた。
4 学校行事、部活動等の充実	部活動の指導は大変であると思うが、碧南高校は成果を出している。中学生との部活動交流はこれからも是非続けてほしい。
5 開かれた学校づくり	ボランティア活動はよくやっている印象がある。新聞で学校の取組が多く取り上げられていることは良いことである。
6 笑顔溢れる学校づくり	ペーパーレス会議はだんだん増えてきている。働き方改革につながるとよいと思う。また、生徒が楽しく高校に通えるようにしてほしいと思うが、働き方改革との両立は難しいかもしれない。
7 その他	進学して他の地域に行ったとしても、いつか地域に成果を還元できる生徒を育ててほしい。また、将来町づくりを構想できるような大人になってほしい。